

大泉高校新聞

【所】区1等 会
行練馬3-3 高員 員
都東5- 泉徒委 (0318)
京大立校生小 (924) 0318
東都学新電 (924) 0318
2年 (発行責任者) 井
武井章

低調脱せず

定例生徒総会

五月一日、三時限目を利用して、放送による定例生徒総会が、開かれた。内容は昨年度の会計決算と会計監査報告、規約改正、そして選挙管理委員の選挙があった。放送によって行なったせいで、質問も少なく低調だったようである。

執行委員会は、今年度より新しく卒業記念誌小委員会を設置するために、それに伴って生徒会規約第四十九条、五十一条、八十一條の改正案を打ち出した。この卒業記念誌と、この卒業執行委員会の関係は、昨年度執行委員会が卒業生のために制作したものである。制作を開始するのが遅かったために、色々と不備な点もあったようだが、なかなか好評だったので、小委員会を設置して毎年制作して

いこうとのこと。また小委員会設置にあたって、委員は一・二年生のみで、企画・編集・発行と三年生の原稿募集が仕事、予算は今年度に限り、生徒会予算から約三万円を使う、という条件が提案された。ひと通り説明があつてから二年二組の茂野君から「卒業記念誌制作するのに一年間は不要では」という発言があつた。これに対して執行委員会は「記念誌の小委員会は新入

生歓迎小委員会と同様に、後期にわけずに常設委員会として設置する」と答えた。議決の結果、この規約改正案は承認された。この結果、生徒会規約第四十九条に「卒業記念誌小委員会」を加え、第五十一条、各小委員会の任務に「8、卒業記念誌小委員会卒業生に贈る記念誌の編集・発行」(第八十一條に「4、本規約の一部を改正し、昭和五十九年度前期より施行する」を

生歓迎小委員会と同様に、後期にわけずに常設委員会として設置する」と答えた。議決の結果、この規約改正案は承認された。この結果、生徒会規約第四十九条に「卒業記念誌小委員会」を加え、第五十一条、各小委員会の任務に「8、卒業記念誌小委員会卒業生に贈る記念誌の編集・発行」(第八十一條に「4、本規約の一部を改正し、昭和五十九年度前期より施行する」を

それぞれ加えることになつた。五十八年度会計監査報告によれば、委員会や部の会計責任者の交代等により帳簿をつけられる際にトラブルがあつたところが多かつたようである。そこで五十九年度会計では、このようなことのないよう、五月十七日に各団体の会計責任者が集められて、会計および帳簿のつけ方に関する説明会が行われた。

会計監査報告の後、三年二組合の望月君より、「提出した帳簿は何のために使われているのか」という質問があつた。これに対しては「会計と各団体のお金のやりとりが正しく行われているかどうかを、会計監査が確かめるために帳簿を調べている」とのことであつた。議決の結果、監査報告は承認された。

総会全体としては質問も二回だけで、前回と同じく一般生徒の盛り上がりにかけたようになっている。これは前回も指摘された問題だが、執行委員

自由・自治とは

論説

「大泉高校の特色は何？」と聞かれた時に、我々は一体何と答えられるだろうか。校庭の広さや、田型校舎のことなどいろいろなことがあるだろう。しかし、我々がいつも当然の様に考え、気にもかけていないことだが、とても大きな特色がある。それは自由自治ということだ。例えば服装や持ち物についてはそれぞれ自由だが、我々は果たして自由自治ということをして行っているのだろうか。

我が校の生徒会活動というものを考えてみよう。非常に活発だと言えよう。非常に一部の人達を除いては、ほとんど全員が活発に行動している委員会もあれば、委員のくせに何もしていない人が大勢いるところもある。この様な委員会では、確かに生徒の自由自治であるが、一部の者のそれであつて生徒全体の自治ではない。一人一人がもつと活動を考え、各委員会や問題点について積極的に意見を出して

と、その時の我々の態度は？と言つてもないだろう。さつと集まり、静かに話を聞いて任せて、責任を持たされているのが我が校の場合である。言い方を換えればより信頼されているのだ。集会の場合も、集会をしているのは司会や役員ではない。我々全員なのだ。その様なことがわかっている生徒に、自由自治を任せられる権利はない。

これからは、全員がもつと自覚を持って学校生活における行動をとっていくことが大切である。そうしてこそ大泉生としての自由自治が生かされるのではないのか。そしてそれが、我が大泉高校をより良い学校にする為の土台になるのであろう。

(N)

盗難が増える

最近とても盗難が増えてきている。指導部の先生に伺つてみると、四月以来、届け出のあつた分だけで、二十三件もあるそうだ。内容は99%現金の抜き取りで、中には人の財布からお金を抜き取り、関係のない人の袋の中に入れるといった悪質な盗難もあるとのこと。その他にも、トイレの鏡や教科書を取つたり、人の自転車を駅まで乗つて行ってそのまま駅においてきたり、ロッカーをこじ開けて中の物を全部持つていくという事件もあつた。曜日で見ると、火、土曜日によく被害者でみると女子に多いようである。(男子は届け出ないのか) といった犯人は誰なのだろうか。外部のプロがいるのか、それとも非常に残念なことに内部のものが盗むのか。盗難事件があつたというのを聞くと、びびるに人か信じられなくなつてしまつた、とても不愉快な気分になる。

次に何故盗まれるのかを考えてみよう。自分の持ち物をきちんと管理しているだろうか。うっかり財布を更衣室に忘れて盗まれたとか、トイレに入っているときに置いてあつた荷物をとられたとか、ちよつと不注意で事件は起きていたようだ。また持ち物に名前が記入してあれば、落

盗難増える

盗難が増える

最近とても盗難が増えてきている。指導部の先生に伺つてみると、四月以来、届け出のあつた分だけで、二十三件もあるそうだ。内容は99%現金の抜き取りで、中には人の財布からお金を抜き取り、関係のない人の袋の中に入れるといった悪質な盗難もあるとのこと。その他にも、トイレの鏡や教科書を取つたり、人の自転車を駅まで乗つて行ってそのまま駅においてきたり、ロッカーをこじ開けて中の物を全部持つていくという事件もあつた。曜日で見ると、火、土曜日によく被害者でみると女子に多いようである。(男子は届け出ないのか) といった犯人は誰なのだろうか。外部のプロがいるのか、それとも非常に残念なことに内部のものが盗むのか。盗難事件があつたというのを聞くと、びびるに人か信じられなくなつてしまつた、とても不愉快な気分になる。

次に何故盗まれるのかを考えてみよう。自分の持ち物をきちんと管理しているだろうか。うっかり財布を更衣室に忘れて盗まれたとか、トイレに入っているときに置いてあつた荷物をとられたとか、ちよつと不注意で事件は起きていたようだ。また持ち物に名前が記入してあれば、落

食い物のごみは…?

「今日さあ、パンダッシュなんだ。つきあつてよ」現役男子が得意で代つ子に便利を言ふと買えたみたい。なんて話も聞かれる。三、四十人はあつたという間に並んでしまふつと前に並んでいる人に自分が買つてくることだよね。話は変わるが、冷水機が少ないという声がかつていて、あつたという間に並んでしまふつと前に並んでいる人に自分が買つてくることだよね。話は変わるが、冷水機が少ないという声がかつていて、あつたという間に並んでしまふつと前に並んでいる人に自分が買つてくることだよね。

食い物のごみは…?

食い物のごみは…?

「今日さあ、パンダッシュなんだ。つきあつてよ」現役男子が得意で代つ子に便利を言ふと買えたみたい。なんて話も聞かれる。三、四十人はあつたという間に並んでしまふつと前に並んでいる人に自分が買つてくることだよね。話は変わるが、冷水機が少ないという声がかつていて、あつたという間に並んでしまふつと前に並んでいる人に自分が買つてくることだよね。

順調な出足

五月三十日の昼休みからHRにかけて、59年度前期執行委員選挙が行われた。前回に引き続き定員九名立候補者が出て順調な出足である。ただ立合演説の時にマイクの調子が悪く、ハンドマイクを使って演説を行ったため、ほとんどの人には全く聞きとれず、残念だった。放送委員の話では、前日の放課後にチェックした時は何もなかったのに、気まぐれに途絶えて困つたとのこと。全校生徒に大いに関わる問題であるから、執行委員会でもよく検討してもらいたい。

新しい執行委員は次の通り

会長 中村明夫(二の三)
副会長 横山健太(二の六)
無任所 池田石文(二の六)
小林佐知子(一の八)
高野典子(一の八)
南澤満紀(一の十)
榎本里美(二の八)
葎司美和(一の三)
丹野よし子(一の八)

これらの他にも色々な問題のある学校です。御意見や御希望、疑問点などがありましたら、一人でも考えたり妥協したりせず、生徒委員会へ議題として出して下さい。

盗まれたことがあるか?

ない	ある
(88)	(12)

盗んでいる所をみたらどうするか?

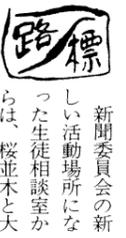
止める	先生に言う	みのがす
(45)	(25)	(25)
無答		
(5)		

男子

止める	先生に言う	みのがす
(48)	(25)	(25)
無答		
(2)		

女子

位はパーセント



新聞委員会の新しい活動場所になった生徒相談室からは、桜並木と大泉公園の燃えるような緑がまぶしい。いい環境、いい設備しかし一つだけ良くないものがある。最近、指導部からの注意が耳につく。盗難が多いことに加えて上履でアカセにあたりに出る生徒が多いものだから、指導部長の高橋先生のうるさいこと、うるさいこと。騒がしい休み時間の放送でさえ「大きな声だなあ」と思つたのに、静まり返つたHRの時などは、爆弾でも落ちたんじやないかと思つた程に頭にガンガン響く。「先生、もう少し音量を下げた方がいいよ」と頼んだら「いいの、うるさい言わなくちやわからないんだから」とマジな顔をしておつた。指導部長になると、在校生の評判がコロリと変わるそうだ。ある先輩の話でも、神様みたいに優しくなつた先生が指導部長になつたとたん、アレコレうるさくなって驚いたことがある。ガミガミの高橋先生も「卒業生に指導部長をやつていこう」と、ものすごくびびりたがる「ほど優しくなつた」と、御自分はおつしやつている。こゝろで、憎まれ役をやらざるを得ない先生に恨みをぶつけるのはやめて、うるさい放送をなくす一番の近道を考えようじやありませんか。上履でアカセへ行くなというのには、ウーン、守るのはつらいなあ。何しろ学校から十メートルと離れていないのだから、校内が汚れるというのなら自転車で行くという手もあるのだが、みつともないと言われると一寸難しい。ひとつ知恵でもしぼって名案をあみ出して欲しい。トンチでかあつても、たまには面白いかも知れない。おどかすか、のびのびの大泉にしたいものだネ。

我々の手で!

自販機購入は可能?

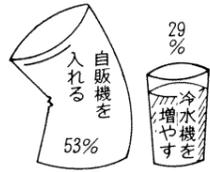
冷たい水は欠かせない季節になった。一步……
 ○……外へ出れば、自動販売機がいたる所に転がっ……
 ○……いては、校内に自販機を設置する……
 ○……とは果たして自然か不自然か。意見のわ……
 ○……かれるところである。数の暴力にならぬよう……
 ○……問題点を探ってみて欲しい。

アンケートを行った当時はある。時を構わずに飲む生徒が激増し、校舎内をはじめ校庭のあちこちに空き缶がポイ投げ出される光景は、容易に想像される。自由を勝ち取ったと始末は考えないところから、大泉生の欠点なのだから、ゴミ箱を増やすなどの考慮が、各自の自覚が必要であろう。かつては円型校舎でアイ

自販機を設置する場合、まず問題になるのが校内衛生で

先生の立番 3%
 生徒会の自治 4%

どうしたら外出が減ると思う?



自販機を入れるとしたら…

充分利用されるか	され	わ	そ
	40%	29%	22%
人気のあるもの	がよい	がよい	その他
	60%	31%	

学校が食生活を乱すと感じるか	感じる	感じない	その他
	29%	59%	

予算は平等か

査定をめぐる問題

★不満はどこから★
 毎年与えられる予算に、充分満足している団体が果たして幾つあるだろうか。恐らくその様な団体は無に等しいだろう。

何故不満というものが生じるのだろうか。我が校の場合、文化部、運動部、同好会関係を含めて47団体ある。そこで、生徒会費(私費)、都から支給される都費と、前年度の繰り越し金等を含めたその年の予算のうち、約300万円という少額(委員会関係を含め約600万円)を分けるのである。当然のことだが、その

中には、20万近くもついでに、5万円以下程度の団体もある。こういった差は、「各団体の活動に最も必要とする」という方針によって生じる。つまり、その団体の必要最低限の金額+αのみしか与えられず、個人的に使用される様な物品を買う為のお金は、一切出ないものである。しかし、ある団体が他の団体の査定額の内訳を見て、自分の相手の方にはあまり必要だと思えない項目が認可され

るから設置すべき」との意見の方が多い。「牛乳や果汁など無害な飲料だけにすればよい」と全校の約3割の生徒が答えているのであるから、まずこれらの飲料水だけで試してみる価値はあると思う。便利な上に安価ならば、こちらを利用する生徒がむしろ増えるかもしれない。指導部の先生の話では「百数や管理については全く答えられないが、先生方の意向をよく確かめて検討していくつもり」ということである。またアイス販売はしないかという問いに

「君に彼女いる?あるいは彼氏いる?オレたちは現在ひとりもの。やっぱ彼女欲しい?」

有志座談会

君がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

た方がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

より年間活動の必要量がケタ多い。などというアンバランスから生じる差は仕方ない。しかし、これらの活動に対する意識込みと、部長の指導方法によって毎年全く違ってくるのが当然である。去年ある大会で優勝したからといって、今年一勝もできないこともあり得るのだ。試合の成績で予算を決めると言っているのではない。その活動状況に差が表れるという事は、それなりに活動の仕方に問題があるということである。要するに、その年のその団体の活動状況というものを充分把握したうえで、翌年の予算額を決めるということが必要であろう。前年度にいくら与えられたか、あまり関係のないことではないか。言葉は、昔から存在する団体が高額なのだ。このことにも問題がある。という事は、ある団体がある年にすばらしい活躍をしたからと言って、次の年も同じ様な成績を修めるとは限らない。つまり、予算が毎年着実に増えていって

るから設置すべき」との意見の方が多い。「牛乳や果汁など無害な飲料だけにすればよい」と全校の約3割の生徒が答えているのであるから、まずこれらの飲料水だけで試してみる価値はあると思う。便利な上に安価ならば、こちらを利用する生徒がむしろ増えるかもしれない。指導部の先生の話では「百数や管理については全く答えられないが、先生方の意向をよく確かめて検討していくつもり」ということである。またアイス販売はしないかという問いに

「君に彼女いる?あるいは彼氏いる?オレたちは現在ひとりもの。やっぱ彼女欲しい?」

有志座談会

君がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

た方がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

より年間活動の必要量がケタ多い。などというアンバランスから生じる差は仕方ない。しかし、これらの活動に対する意識込みと、部長の指導方法によって毎年全く違ってくるのが当然である。去年ある大会で優勝したからといって、今年一勝もできないこともあり得るのだ。試合の成績で予算を決めると言っているのではない。その活動状況に差が表れるという事は、それなりに活動の仕方に問題があるということである。要するに、その年のその団体の活動状況というものを充分把握したうえで、翌年の予算額を決めるということが必要であろう。前年度にいくら与えられたか、あまり関係のないことではないか。言葉は、昔から存在する団体が高額なのだ。このことにも問題がある。という事は、ある団体がある年にすばらしい活躍をしたからと言って、次の年も同じ様な成績を修めるとは限らない。つまり、予算が毎年着実に増えていって

るから設置すべき」との意見の方が多い。「牛乳や果汁など無害な飲料だけにすればよい」と全校の約3割の生徒が答えているのであるから、まずこれらの飲料水だけで試してみる価値はあると思う。便利な上に安価ならば、こちらを利用する生徒がむしろ増えるかもしれない。指導部の先生の話では「百数や管理については全く答えられないが、先生方の意向をよく確かめて検討していくつもり」ということである。またアイス販売はしないかという問いに

★校内トピックス★

★関東大会出場★
 六月三日に行われた軟式テニス関東大会へ我が大泉高校から湯浅、上杉君が出場した。これは、東京都の子選で千本ア以上の中から勝ち残った二十四組が出場できるという大変にきびしいものである。そこで六月一日には全校で壮行会が行われた。

大会の結果は、一回戦で茨城の代表にゲームカウント4対1で勝ったものの、二回戦で埼玉の代表に1対4で敗れてしまった。しかし関東東で六十四位という立派な成績であった。今後も今度以上に頑張ってほしいものである。

★水道管取り換える★
 3号棟の水がさびびくさびく飲めない、と随分前から言われていたので、3人の記者が飲み比べ調査をした。やはりさびびくさい。指導部の高橋先生にも試してもらい、事務から保健所に検査を依頼する運びになった。結果、一部の水道管を取り換えた方が良さそうということがなり、二学期までに取り換えるそうだ。(C)

★購買部廃止★
 今度の円型校舎改装の為、昭和38年から生徒の文具などを売っていた購買部が廃止されることになった。

★耳のクーラー★
 教科担任の先生方から、「うるさい!騒がしい!」等々、非常にひんしゅくを買っている一年一組に、夏の風物詩の一つ「風鈴」が入った。それはある日のこと。授業中の雑談で、「暑いから、風鈴でも持ってこい」と、誰かが言ったことがきっかけで、クーラーが無い暑い夏には、「耳のクーラー」と好評を博している。

あなたのクラスにも夏の風物詩「風鈴・籬・かき氷」を一ついかがですか。(一)

彼女が欲しい?!

有志座談会

君がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

た方がいいなと思っちゃう。この座談会を読んで、君はどう思うかな。

より年間活動の必要量がケタ多い。などというアンバランスから生じる差は仕方ない。しかし、これらの活動に対する意識込みと、部長の指導方法によって毎年全く違ってくるのが当然である。去年ある大会で優勝したからといって、今年一勝もできないこともあり得るのだ。試合の成績で予算を決めると言っているのではない。その活動状況に差が表れるという事は、それなりに活動の仕方に問題があるということである。要するに、その年のその団体の活動状況というものを充分把握したうえで、翌年の予算額を決めるということが必要であろう。前年度にいくら与えられたか、あまり関係のないことではないか。言葉は、昔から存在する団体が高額なのだ。このことにも問題がある。という事は、ある団体がある年にすばらしい活躍をしたからと言って、次の年も同じ様な成績を修めるとは限らない。つまり、予算が毎年着実に増えていって

君の心の色は?

大泉生意識調査

以前に、我が校の生徒の異性に対する意識調査を行い、それが好評だったので、再びアンケートをとり前回のものと比較してみる。その調査結果の違いにびっくりしたのが、いかがだろうか。これからは我が校の生徒の異性に対する意識について考えてみたいと思う。

まず、グラフ(1)を見てもらう。特定の異性の友人がいると答えた人は、女子では前回の6%から22%に急増した。これは、前回の調査を行った当時は、「プリッコ」が大流行し、女の子達は、周囲の目を気にして可愛らしくみせようと振舞っていたが、今では少女達は強くなり、積極的にBFを求めようになつてきて、周囲の人達を気にする恥ずかしさが薄れ、色々な

以下のグラフは、本校の1年生から3年生までの、任意の400人の生徒を対象としたものです。

特定の異性の友人がいますか (%)

男子			女子		
いる	いない	無	いる	いない	無
'82 16	70	14	6	82	12
'84 12	80	8	22	72	6

なことを平気でできる様になつてきたからだと思う。つまり、俗にいう「かわい子プリッコ」から、愛敬のある子へと変わつてきているのだと思ふ。そしてまた、そういう子がもてる時代になつてきているのではない。

反対に、男子は特定の異性の友人がいると答えた人は減り、女子とは逆の傾向を示している。この様に、男女間に差が表われたのは他校の男子生徒とつき合う女子が増え、また年上の男性好みの子が増えたからであろう。

次にグラフ(2)を見てもらう。男子の場合、欲しいと答えた人は、前回の16%から何と54%へと3倍近くふえた。これは、最近ハイスクールを舞台とした青春映画がしばしば上映され、おまけにこ

数年間、欧米流の男女交際の仕方がほとんど日本にも流れ込んできている。そういうことをしたいと思う男子生徒にGFが欲しい、と思う人が増えたのではあるまいか。女子の場合も、前回の完全に逆転している。女子は左に記した理由の他、自分達の友人にBFができていないのを見て、おくれまいとして「あせり」が生じたという理由も考えられる。

最後に、グラフ(3)、特定の異性の友人が必要かどうか、を見てもらう。男女共に必要だと答えた人が増え、特に女子が急増している。これは男女が平等だということ、最近の雇用問題などによって再確認し、お互いが必要だということより素直に認められるようになったからではないか。これとは別に、現代の早熟化もこの結果を生む立派な要因になっていると思う。

特定の異性の友人を欲しいと思いますか (%)

男子			女子		
欲しい	欲しくない	無	欲しい	欲しくない	無
'82 16	70	14	24	58	18
'84 54	40	6	52	40	8

回に限ってまたまた偶然そうだったものとは思えない。むしろ、現代の若者達の心の中では今、異性に対する意識

の仕方が大きく変化しているのだと思う。そしてこれからは徐々に変化していくのではないだろうか。

高校生にとって、特定の異性の友人が必要だと思いますか (%)

男子			女子		
思う	思わない	無	思う	思わない	無
'82 43	43	14	12	62	14
'84 45	40	15	50	40	10

終わりに、この文章を読んでもし自分の「心」が刺激されていると思つたら、それは何かしらそうなるべき理由

他校訪問

大妻中野女子高校

六月六日水曜日、大妻女子大学中野女子高等学校を訪問した。この学校は、国電中野駅前商店街を抜け、徒歩約10分の所にあり、近辺には、明大中野、堀越東亜学園などがある。

校舎のつくりはS字型をしていてとても珍しい。また、綺麗な体育館が大小2つあり、大きい方はバレーやバスケット、小さい方はダンスなど使われるそうだが、プールはなく、今後造られる予定はないそう。それから、生徒数が大

泉よりも多いわりには校庭が狭く、体育祭は東京体育館で行われるそう。

学校の規則としては、髪の毛が長かったら結ばなくてはならないなどということがある。制服も指定されたものをきちんと着用しなければならなく、我々自由な大泉生にとっては、ちょっとかわいそうだが、それよりも、一般私立校に比べれば比較的ゆるい規則だといふ。

ところで、進学状況は、大妻女子大学・大妻女子短期大学には90%近くの生徒が優先



入学となつていて、そのためか、日頃は授業の予習、復習程度で、定期テストの直前にやること、間近に大学受験をひかえ、ほぼ浪人が確定した人達が多いと聞きました。

熱き体育祭

五月十三日、日曜日、体育祭が行われた。あいにくの小雨模様の中、選手達の熱い闘志が感じられ充実したものであった。当日までの準備は、体育祭実行委員会を中心に進行された。マスコットは人数不足のせいもあったが、白組のペンギンであった。一方応援団は約一ヶ月の間体育祭に向けて、朝早くから夜遅くまでの練習を行っていた。

そして当日、選手達はもちろんだ応援団、体育祭実行委員、そしていろいろな係の人達それぞれが主役となり、体育祭をつくりあげていった。

今年の行進は、昨年と違って各色別団ごとに学年別にジャージの色をかわせて行った。昨年、例年と違うやり方で行進したのだが、見た目が悪いので、今年からもとに戻したのである。

特に人気があった競技のなかに一二年男子の組み立て体操がある。普段の練習の成果の表れか、一つ一つの演技

が自分の心の中に潜在している証だ。

これからはもっと積極的に特定と言えなくても、異性との交流を増やしていかなくては

意味では良いのではないかと。またそうすることが、考へ方によっては青年期における自己を高める重要な要素の一つになり得ると思う。(N)

が光っていた。なかでも一年の「波」や三年の「ドミノ」などが際立っていた。組立て体操については、一年生がやっていた時、二年男子が立つて待機している生徒席からは見えなかった。来年からはこの点をどうにかしてほしいものである。三年女子の民踊は、浴衣姿の大和なでしこたちが、観る者を十分に楽しませてくれたのだが、シングル姿の人が数人いたの少々興ざめであった。昨年応援団により競技のすそが広がった点は、今年も打合せによりうまくいった。この体育祭で、悪かった点を挙げれば、連絡が密でなかったことである。先生と生徒の間で見にくいところがあるのは、体育祭の準備の進行の妨げになるのではないだろうか。

先生側からは「体育祭実行委員には、名ばかりでなく責任をもつてほしい」との意見が



出ている。

今年は、グラウンドがせまかったせいもあり、なにかと自由な点があったが、時間もおくれずにスムーズにいった点は、とてもよかった。

清掃が終わると後夜祭が始まった。帰ってしまふ人が全校生の三分の一もいたが(体育実のアンケートより)それでもフォークダンスの外側の輪が広がりがあつた。歌も、とび入りがあつたりして盛り上がりあつた。応援団の校歌の歌でしめくり、後夜祭の幕は閉じた。(S)

生徒役員決まる

前生徒会長の提案で、生徒委員会に委員長以下六名の役員を選出し、委員会として独立することになった。前会長の話では「生徒委員は消極的すぎて張り合いがない。不満は誰の胸にも少しはあるはずだから、そういったものや小さな提案を出し易くしたいと考へた。また、執行の押しつけ政治にならないよう生徒委員が見張り、かつ生徒委員の活動が指摘できる、三種分立的なことも考へたから」とのこと。毎週、臨時生徒会室で活発な質問交換もなされるようになり、今後の活躍が期待される。

生徒委員会は、大部分の人が存在や活動など全く知らないでしよう。

役員は委員長一人、副委員長が各学年に一人ずつの計三人、出欠確認係二人から成立

この提案を一番始めにしたのは執行委員会で、執行の仕事の負担を削る為と、生徒委員会と執行委員会を独立させ、それぞれの立場をはっきりさせる為です。例えば役員が議題の提示や出席状況の調査などを行って欲しいということだったので、つまり執行の代行) すんなり通らず反対意見、改善案、その他が飛び交い、ほぼ原案通りの活動を行うことになりました。

役員は今後ですが、役員は生徒と生徒会の分離ということを強く感じていて、この所をしっかりとさせなければならぬ。この点から取り組むことになりました。まず最初に緊急問題以外は、全て一度クラスに持ち帰ってもらうことにしたので、単に非効率化しただけという意見も出されています。しかしこれからは、今以上に生徒会の動きが生徒に直接伝わり、生徒の動

投書

さらば購買部

「問題集、数学...」

「え、何年生の?」

「あ、一年生。」

購買部でこんな会話を耳にしたことがある。一体これがどういう意味なのかと疑問に思っただろう。始めから、「一年生の数学の問題集を下」と言っているのだから、その言の意図が、なかなかそれがはつきり言えないのである。

つまり、言葉が足りないのだと思ふ。親しい友人同士の間では話を通じればよいだろうが、購買部のおばさんのように何人もの人間の相手をしている人に対しては、特にはつきり何が欲しいのか、とい

うことを伝えるには力が必要だと思ふ。みなさんも協力をお願いします。

今度購買部がなくなることにしたので、上履や問題集などを指定の店へ買いに行かなければならぬし、消しゴムがなくなつて困つても、購買部には頼めない。二年生はもうそろそろ一年生にとつても不便なことだろう。

しかし、私達が不便になるということよりも、もっともつと購買部のおばさんの苦勞があつたことだろう。

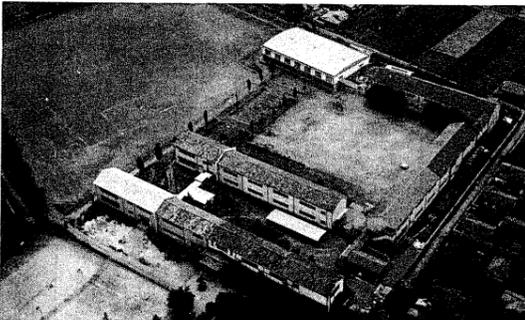
私達が、おばさんの仕事にスムーズに出来るようにちょっとした言葉使いに気を付けていたら、もっとお互い気持ちよく過ごせたのではないだろうか。

言葉使いに限らず、いろいろなことに対してほんの少し気を付ければ、気持ちよく学校生活を送れるだろうし、今以上にすつと素晴らしい大泉になれるのではないかと思ふ。

(二年女子)

大泉高校の憶出

石井 秀



昭和35年の大泉高校

私が大泉に来たのは昭和三十七年ですが、その頃の高校生は今よりも授業中は活発だったと思います。

大泉に来て最初の授業日のことは今でも覚えています。その日、何回も講義を或るクラスでやっていたら、窓の外から生徒がのぞきこんで「あつ、まったく同じことをしゃべってア」と野次つて行つたのです。クラスの生徒はクスクス笑うし、こちらはトーンダウンにだけはな

りたくないと思つていたので自尊心は傷つけられる、大いに困りました。つづいて体育祭の頃、一年の一般社会のクラスで古代奴隷制の講義をしていて時、いい気持ちになつてとつとつとましく立てていたら、女の子が突然「質問」といふのです。「先生の話はおかしい。もしその前提が正しければ、奴隷の数は先生のいうよりも多くなければなりません。」そこでいいあつてはいるうちに、だんだんその生徒の論が正しいことがわかつて来ました。前任校の経験から、当時の私の頭の中には、女子は男より劣る、少くとも論理的ではないという誤った考えが定着していたので、私はまず、授業の途中で女子に「待た」をかけた。たことで驚き、次に、相手が

た。勿論、語句や事項についての単純な質問も多いのですが、もう一歩踏みこんだ内容のものもありました。例えば、その人が自分で「別本」を読んでいて、そこに書いてあった内容と私の授業での説明との食い違いを指摘して来た。私がまったく予想もなかった観点から同一の現象を論評して私とは異なる結論をつきつけた。また、私は自分の雑学を授業中にひけらかす方ですが、それよりも一枚上の生徒がいて、私の書いた事を一つ一つ訂正するな

そのうちに中間試験になりましたが、一年では男子の平均点より女子の方がよいのです。もともと、二年の地理クラスは私の期待どおりの平均点には達しませんでした。そこで一年でのかたきを二年で討とうと、よせばいいのに、こんな点ではとても勉強したとは思えない」と演説したのです。今の大泉ならそれでシーンとなつて、後はこちらのペースでゆけるのですが、その時はそうは行きませんでした。男子が猛然と反撃に出ました。「先生の授業は早口なのでわからない」「大体、話が面白くない。聞けば聞くほど聞く気がなくなる」「あけくのはては「あなたは何、何年間教師をやっているんですか」という質問まで出された。私は茫然と教壇に立ちすくむだけでした。その時は女子が間に入つて、まともな学期間に入つて、まともな学期前半に体験したカルチャーショックは、私には強烈なものでした。とにかく勉強しなければとても大泉の生徒諸君にはついていけないことがわかつたのです。

その後も、私は生徒諸君の質問には大いに悩まされまし

毎日、試験を受けているような気分だったのです。よい思い出を思ふた。二年と五年の三年生の選択地理Aです。当時、一年生必修だった地理Bの焼き直しで、相手は授業に出てきてくれませんから、地理Bとは異なる角度から随分下調べもなりました。少人数だったので何回か野外観察に出かけた。時間をかかるとレポートを多数提出してもらつたりしました。受験勉強で忙しい苦しいのに、それらのレポートは、詳細なイラスト解説入り、軽妙な紀行文、自問自答式の厚い論文など、同じテーマでも各自の個性が強く出ていて、全員の書き方が違つて

すでに過去のものとなつた「青春」を振り返ってみるような事は、普段はあまりない。まだそれほど年ではな

映画でおなじみの森田芳光監督が、今回「映像のない映画」に挑戦した。

現代に入っていますから、世界の日本史の事項はよくかみ合つた。

生物部で蚕を飼つて研究しているという噂を聞いたので、早速生物室へ行ってみた。

「六月の始めに、顧問の吉成先生が二百五匹の蚕をくれた。

話をしながら、紙に書いたLPレコードによる「映像のない映画」三部作

のなんとなかるとなるにしても、甘つたるきに堪えられなくなつてしまった。



青春雑感

矢野 浩司

体は生徒数が六百名の小さな高校だったから、環境の面からも平穏で当然と見える。一年の時、澄んだ黒い大きな目をした、ぼつたりとした唇の、クレオパトラのような当時はそう思つた。三年生に片恋をした。そして失意の中にながら、同じバスで通学

が聞こえた。そのくらい張りつめていたこともあつたが、総じて高校時代は平穏だった。

大学時代を振り返る時は、昔の出来事として単純に割り切る気持ちにならない事が多くある。大学時代の思考や経験が現在の自分と深い所で結び

生物部で蚕を飼つて研究しているという噂を聞いたので、早速生物室へ行ってみた。

「六月の始めに、顧問の吉成先生が二百五匹の蚕をくれた。

話をしながら、紙に書いたLPレコードによる「映像のない映画」三部作

のなんとなかるとなるにしても、甘つたるきに堪えられなくなつてしまった。

昭和五十九年七月



約四百名は一番大きな教室で集会を開いていた。その場で執行部が、全員で投石しながら機動隊にあたるという戦術を提唱した。これは悪くすると全員逮捕を意味していた。私を含めその時の学生達の動揺は忘れられない。その動揺の大きいためその戦術はとられなかった。戦術のまずさは別にして、それまで自己の将来を相当に犠牲にして加わつて来たその運動の弱みが、決定的段階での自己の弱みとともに、その時はつきりと見えた。思ひかえすと今でも痛い胸をつく。大学四年の冬のことがあった。そのあと私は大

編集後記
祐子と美由とナミと佐つ知と美和と斉藤と達也と稲毛と仁とトオブとカバ丸と、それから委員長の野呂君と、三年生なのにヒマな千春ちゃんどうもありがとっ、ちなみに、顧問は沼ちゃん矢野ちゃん露ちゃんです。今年も一年間4649お願ひ致します。